

気象予報士を目指す人 御用達の本屋さん

本屋は

ワンダーランドだ!

案内人 井上理津子
▽フリーライター 奈良市生まれ。最新刊は「親を送る」。他に「さいごの色街 飛田」名物「本屋さん」をゆく」など著書多数。



津村書店 竹橋

気象庁の入り口で、「本屋さんに行く」と言い、身分証明書を見せて入る。「左手の通路を行くとすぐですよ」と係員は親切だ。館内を10分も進まぬうちに書店があった。

気象庁の中で60年

「義父が気象庁の元職員なんです。戦後リストラに遭ってバカ正直に辞めたら、しばらくして、本屋をやってくれと頼まれました。」

「今年、合格者番号をたんで、表の紙がある。受験者90歳、店は3153人、合格者1260歳です」夫と切り写真を撮りにくる人も盛りしているとか。天気や自然科学という津の本がぎっしり並び、気村京子さん 象予報士及び目指す人御(59歳)が 用達の本屋さんなのでここに、特異なロケ。

ウチで売れている本
「はれるんのお天気教室」
文〓岩槻 秀明 絵〓堀江 謙
東京堂出版 1300円
「はれるんのお天気教室」
絵と文 堀江 謙
東京堂出版 1300円

「気象庁のマスクットキャラクター「はれるん」が天気と防災を教える形式で書かれた、小学生向けの2冊。絵も文もとても分かりやすく、子供ばかりか、それまで天気や防災に関心がなかった大人も興味を持つこと請け合いです。プレゼント用に2冊セットでよく売れます」(津村さん)



千代田区大手町1-3-4
気象庁1階/地下鉄東西線竹橋駅から徒歩3分
03・3211・5533/10~19時(土曜16時まで) / 日祝日休

「Newton」のバックナンバーも揃っている。「ウチにしか置いてないのはね」と津村さんが平台を指した。飾り気のない資料集のような本がずらり。気象庁職員の研修テキストだ

津村さんが次に紹介してくれたのは「避難の科学」(古川武彦著 東京堂出版 2000円)。「気象庁のOBが書いた本で、あとがきに、気象サポーターの素晴らしき提案もあるの」。どういう意味ですか? と聞くと「中公文庫 740円」を購入。

「年度別に「季節予報」「数値予報」「量的予報」などの内容(1029~1800円)税金込み)。市販の問題集に載っておらず、これらのテキストから気象予報士試験が出題されたこともあるという。私もびっくり。「気象サポーター」は私が考えた名称です。気象予報士が自治体に、災害時に避難勧告の助言をするなど活躍する制度をつくるべきじゃないかと」

イ・スンウ ミニトーク 代官山葛屋書店

7問参加 館会場 日京ゲト社ウリル
0い加加2場時子スー(社)著ウリ文ア本屋